

J R連合 N EWS

J R 産業に集う すべての仲間の J R 連合への 総結集を!!

2023 年度

No.80

2024年 4月16日

日本鉄道労働組合連合会

組織拡大のキーワードは「共感

仲間へ寄り添う=共感から組織拡大へ

~ 連 合・女 性 の 組 織 拡 大 担 当 者 意 見 交 換 会 ~

4月1日、東京都内において連合主催の「構成組織・地方連合会 女性の組織拡大担当者意見交換会」が開催され、各産別や全国の地方連合会の女性代表者、約50人が参加した。JR連合からは、吉田春菜執行委員とJR東海ユニオンの榎硲文野中央執行委員が参加した。

はじめに、連合本部の畠山薫組織拡大局長から「組織拡大活動における女性参画の現状」、続いて立 教大学経済学部首藤若菜教授から「組織拡大と女性参画の必要性と取り組みについて」が提起され、 その内容に基づいた意見交換を行った。

組織拡大のアプローチというテーマでは「困っている人の話をしっかり聞き、解決に結びつけていくことが基本で、その積み重ねが組織拡大に繋がる」「拡大したいと思う対象や訪問先を事前にしっかり固めている」「各々が加入させた人や支援して作った組織に対しては責任を感じるのでオルガナイザーになると後々のフォローに対する意識が育まれる」などの意見が交わされた。また「24 時間 365



女性の組織拡大担当者意見交換会の参加者の皆さん

日、困ったことがあればいつでも相談して」という従来の組織拡大方法がオルガナイザーに過度な負担になるという意見もあり、これに対して「1人で対応するのではなく複数人で対応してはどうか」「SNS で相談を受け付けるが、翌朝回答、翌日訪問するなどしている」「すぐに行動するより、まず声を受け止めることが大事」という取り組みが紹介された。

後半は、公益財団法人大阪社会運動協会評議員の伍賀偕子氏より「'70年大阪万博・新米女性オルグ



参加者の意見に耳を傾ける芳野会長ら

の奮闘」と題した基調講演があり、女性の社会進出が 進む昭和時代の貴重な体験談を伺うことが出来た。そ してその後には連合の芳野友子会長も交えた「女性や 若者達による、未組織労働者の組織化について考える 〜組織拡大の経験、事例、日々の活動や生活から〜」 というテーマで意見交換が行われた。芳野会長は「い まだに年配の男性が多い労働組合だが、女性や若者な どの問題を抱える当事者が議論に入ることによって 組織の課題が明確になり、共有化され、解決しやすく なる」「未組織の企業で働く労働者たちから連合は敷 居が高いと思われており、敷居を下げていくことが必 要。そのためにも様々な年齢や立場の仲間が必要だ」

と訴えた。参加者からは「連合の仲間になることによって、会社と対峙する際の後ろ盾になって貰える」「連合経由で有益な情報を沢山得ることができる」「同業や同世代など横のネットワークができ同じ悩みを共有、相談できるなどのメリットを感じる」「連合は様々な良い取り組みをしているが、まだまだ届いていない。情報発信が大事だ」などの意見が交わされた。

JR連合は、今回の学びで得たことを組織の中で発信・共有し、より良い組織づくりに務めていく。